



LMT-LAD Tapered 病変に対して SYNERGY MEGATRON™ を留置した一例



割澤 高行 先生
NTT東日本 関東病院 循環器内科
冠動脈カテーテル治療部門長/CCU 室長



症例情報:

症例は80代男性。3か月前に出現した労作時胸部圧迫感が、1か月前から増悪傾向にあるとのことで、当院を受診。症状経過、及び、高血圧、脂質異常症、糖尿病、過去喫煙という複数の冠危険因子の存在から、狭心症を疑いCAGを施行した。図1のように、血管造影上の定義ではMedina (0,1,0)のLADの近位部病変であったが、LMT distalにもplaqueの存在が疑われる所見であり、かつ、LMTとLADの径差がある状況であった。

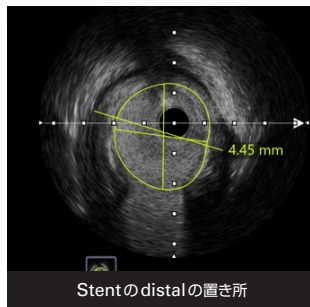
治療:

PCIシステムは、Rt TRAアクセス、7FのGC、LAD、LCx双方の血管にGWをクロスした。IVUSでは、やはり、LADの最近位部からLMT distalに続く線維性plaqueを認めており、一部、散在性の石灰化があり、それなりの硬度がある病変と考えられた。DistalのStentの置き所は内腔で3.1 x 3.3mm程度であった一方、LAD/LCxの合流点では4.5mm程度までの拡張が必要な所見であり、LMTの入口部の内腔は4.9mm程度であった(図2)。Wolverine 3.0 x 15mmで前拡張を施行。IVUSで良好な拡張とdistalに



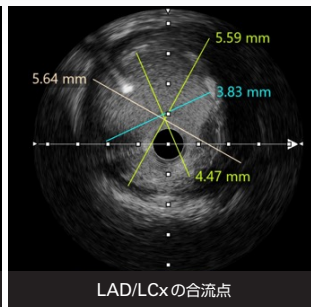
図1 Pre Angio

こちらから動画が
ご覧いただけます

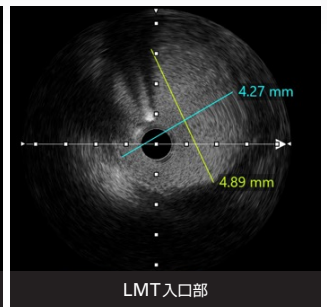


Stentのdistalの置き所

図2 Pre IVUS



LAD/LCxの合流点



LMT入口部

こちらから動画が
ご覧いただけます

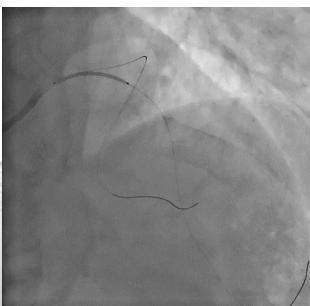


図3 スtent留置

こちらから動画が
ご覧いただけます



図4 NC Emerge 4.5x12mm

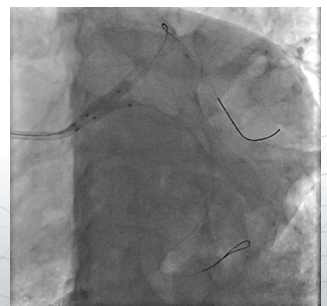


図5 NC Emerge 3.5x12mm/3.0x12mm

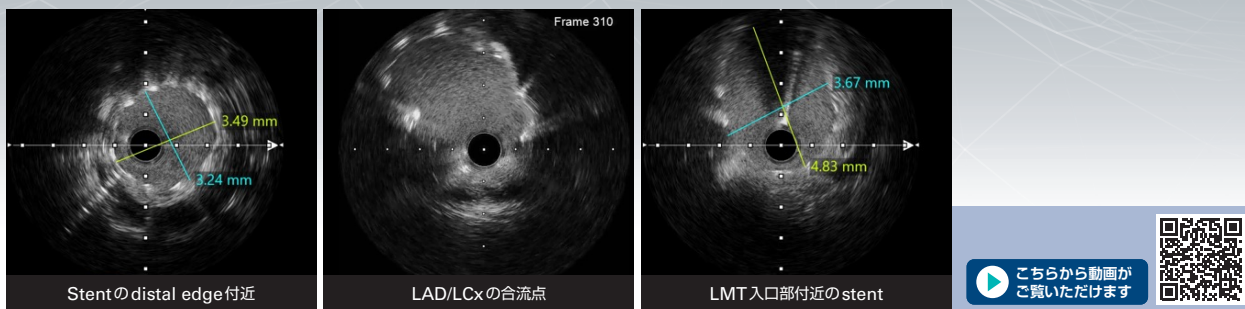


図6 POST IVUS

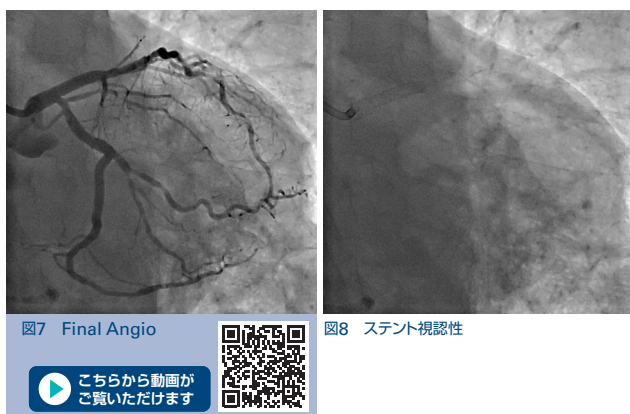


図7 Final Angio

図8 ステント視認性

解離がないことを確認し、MEGATRON 3.5 x 24mmをLMT入口部に合わせて留置した(図3)。この際には、8atmの低圧で留置し、少し引いた後に、18atmでの拡張を行った。NC Emerge 4.5 x 12mmでPOTを行い(図4)、LCxにGWをリクロスした上で、LMT-LAD/LCxにNC Emerge 3.5 x 12mm/NC Emerge 3.0 x 12mmでKBTを施行(12atm/12atm)(図5)。双方向からのIVUSを確認し(図6)、TIMI3で終術とした(図7)。

MEGATRON使用に対する考察:

LM-PCIとしては最も典型的で、治療内容としてはシンプルながら、径差のあるLADとLMTによく対応したMEGATRONの良さが感じられる症例であった。Distalの

内径3.1mm程度となると3.5mmのstentを留置するのを躊躇する術者もいると思われるが、8atmの低圧拡張でも十分に留置が可能である。その後のPOTによって、LAD/LCxの合流点となる、いわゆるポリゴン部位のstent圧着も良好であり、最近位部も4.8mm程度まで再形成がなされている。図6に示したように、KBT後のLCxへの開き具合も非常に良好であり、LMTからLADにかけてtapered型に整えられている様子もみてとれる。

また、図8で示したように、とても視認性がよいstentであり、LMT入口部の位置合わせの際にストレスが少ないことも利点と考える。この視認性の良さは、stentと石灰化を見誤るリスクのある高度石灰化病変の症例へのPCIの際によりいっそう発揮される。

さらに、LMTやRCAの入口部は大動脈成分で出来ており、以前から通常の冠動脈用stentで役目を果たし得るのか疑問が呈されていた。MEGATRONのRadial forceの強さはこうした入口部病変にもマッチするものと考えており、当院では同stentがLM-PCIの第一選択となっている。

まとめ:

- MEGATRONは、血管径に応じた再形成によく対応するstentである。
- MEGATRONは、側枝の開通も良好であり、分岐部病変にもよく対応するstentである。
- MEGATRONは、視認性の良さ、Radial forceの強さを兼ね備えており、LM-PCIの第一選択stentと考える。

※径表示換算目安: 1mm=3French=0.0394inches

販売名: シナジー メガトロン ステントシステム
医療機器承認番号: 30500BZX00230000

販売名: ウルヴァリン コロナリー カッティングバルーン
医療機器承認番号: 22800BZX00341000

販売名: NC イメージPTCA バルーンカテーテル
医療機器承認番号: 22600BZX00533000

製品の詳細に関しては添付文書等でご確認いただくか、弊社営業担当へご確認ください。
本資料は製品の効果および性能等の一部のみを強調して取りまとめたものではなく、製品の適正使用を促すためのものです。

©2024 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.
All trademarks are the property of their respective owners.

Boston
Scientific
Advancing science for life™

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
本社 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス
www.bostonscientific.jp

IC-1908303-AA